

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千八百六十五號

昭和十六年八月七日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房第四二〇七號

下士官及兵ノ現ニ所持スル雨衣ノ記號ニ記入シアル所
轄名ハ之ヲ抹殺セシムベシ

昭和十六年八月六日

海軍大臣

官房第四二一一號

昭和十六年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十六年八月六日

海軍大臣

臨時部

款	項	目	節	解 疏	會計科目 電信略號
水陸 整備費	軍港 設備費	馬公要港部 雑設備費			ネヲ

建築費

ネヲ

官房機密第七〇六九號

海軍遺獨軍事視察團規程ハ之ヲ廢止ス

昭和十六年八月六日

昭和十六年官房機密第一〇六号

海軍大臣

(二月十三日海軍公報(部内限)参照)

○通 牒

官房機密第七〇九七號

昭和十六年八月七日

海軍省 副官

内令提
要登載

各艦守府、各要港部、
海軍警備府

副官殿

艦船行動作業豫定等ニ關スル件照會

海軍氣象觀測通報規程第十條ノ規定ニ依ル氣象通報實
施ノ圓滑ヲ圖ル爲自今各艦船ノ行動作業豫定其ノ他必

海軍公報(部内限)第三千八百六十五號

昭和十六年八月七日

一〇三五

2070

要ト認メラルルモノハ成ルベク速ニ共ノ一通ヲ水路部
長宛送付ノコトニ取計相成度

軍需衣第二〇三號

昭和十六年八月六日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

下士官兵雨衣ノ記號ニ關スル件通牒

昭和十六年達第二百四十七號ヲ以テ雨衣記號ノ様式ヲ
改正相成候處同號附則ニ依リ従前ノ規定ニ依ルモノヲ
混用スル場合ハ左記ノ通處理相成度

記

- 一、兵備品會計官吏ノ保管スル雨衣記號ハ所轄欄ヲ對角線(X)ニ抹殺ノ上使用ノコト
- 二、兵備品會計官吏及兵備品取扱主任ノ保管スル雨衣ニ縫著シアル雨衣記號亦前號ニ準ズ

○ 辭 令

(各通) 通信書記補 福島寛之助
同 具川 格

第一海軍軍用郵便所員ヲ命ス

(各通)

事務員 田口長次郎
集配員 佐藤 喬
同 川瀧 信行

第一海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

通信書記補 草間 貞雄

第三海軍軍用郵便所員ヲ命ス

(各通) 集配員 山口 茂二
同 近藤 昇

第四海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上ハハ海軍省)

○ 雜 款

○郵便物發送先

自今當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

隊、司令宛 朝風(横須賀郵便局氣付)
機關長、軍醫長宛 疾風(佐世保郵便局氣付)
主計長宛 夕風(同)
追風宛 (同)
(第二十九驅逐隊)

八月十一日以後第五根據地隊司令部宛郵便物ノ所在地
區別符ハ「壹壹」

○事務所設置

第二土浦海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ヲ七月一
日土浦海軍航空隊内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

伊號第十潜水艦艇裝員事務所ヲ八月二日神戸市湊區東
川崎町二丁目川崎重工業株式會社内ニ設置セリ

○事務所撤去

第十七號驅潜艇艇裝員事務所ヲ七月三十一日撤去セリ

○正誤

⑧

去月三十一日令達欄官房第四一〇五中「左ノ通定ム」
ハ「左ノ通改正ス」ノ、同機雷術要誌別冊數量欄「二」
ハ「一」ノ、本月二日令達欄官房第四一二二號中「拔
擢名籍」ハ「拔擢名籍」ノ、同辭令欄中「立花 正」
ハ「立花 止」ノ孰モ誤

○艦船所在

△印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

○八月七日午前十時

【横須賀】春日▲、劍崎▲、山城▲

澤風▲

伊一六、伊一七、伊四、伊五

知床

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲

(伊三七)▲

【長浦】

△嵐▲、萩風▲

△呂六一▲、呂六二▲

哨一▲、哨二▲

【川崎】

能登呂

【横濱】

(筑紫)▲

【浦賀】

(秋雲)▲

【大湊】

石垣

伊五二

△驅潜一五、驅潜一三、驅潜一四

【吳】

大泊

淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、神通、北上

夏潮、△初雪、白雪、吹雪、天津風、

初風、霞、陽炎

△呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、△伊五三▲

△伊五四▲、伊五五▲、伊五八▲、伊一二二▲

△伊七四▲、伊七五、伊七〇、伊六八、△伊七三、

伊七一、伊七二、伊二二、△伊五六、

△伊六九

△驅潜特五一▲、驅潜特五二▲、驅潜特五三▲

哨四六▲、哨三四、哨三五

櫻野、襟裳

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

(伊七六)▲

【大阪】

國後

(驅潜二一)▲

(瑞鶴)▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲

(伊三)▲、(伊四二)▲、(伊一一)▲

(伊六〇)▲

【相生】

伊六〇▲

△驅潜二〇▲

【相玉】

朝日

那智

【德山】

瑞鳳、鳳翔

夕風、三日月、黒潮

伊二一

哨三一、哨三二、哨三三

鶴見、間宮

千代田

【伊豫灘】

吾妻▲、木曾、龍田、△多摩

薄雲▲

鳩、鷲

△呂三四▲

哨三六▲、哨三七▲

野島

(夕雲)▲

△加賀、出雲

△白霧、有明、夕暮、時雨

海軍公報(部内限)第三千八百六十五號

昭和十六年八月七日

一〇三九

2073

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千八百六十六號

昭和十六年八月八日(金)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第七一二七號

第四海軍建築部東京支部ハ海軍共濟組合規則ノ適用ニ
關スル限リ之ヲ獨立ノ現業廳ト看做ス

昭和十六年八月八日

海 軍 大 臣

○ 通 牒

官房機密第三〇九一號ノ八

昭和十六年八月八日

海 軍 省 副 官

各 應 長 殿

郵便物ニ關スル件申進

官房機密第三〇九一號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關ス
ル例規中左記ノ通改メヲレ候
記

附錄部隊區別符表末尾ニ左ノ如ク加フ

第四根據地隊司令部 八五

○ 雜 款

○司令水雷艇變更
第二十一水雷隊司令ハ八月四日司令水雷艇ヲ初雁ニ變
更セリ

海軍公報(部内限) 第三千八百六十六號

昭和十六年八月八日

一〇四一

2075

○艦船所在

指印ハ「ハ」ヲ要セズ

○八月八日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、能登呂

澤風▲

伊一六、伊一七、伊四、伊五

知床

(翔鶴)▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊三三)▲

(伊三七)▲

【長浦】

戸嵐▲、萩風▲

戸呂六一▲、戸呂六二▲

哨一▲、哨二▲

【横濱】

(筑紫)▲

【浦賀】

(秋雲)▲

【大湊】

石垣

伊五二

戸驅潜一五、驅潜一三、驅潜一四

【吳】

大泊 淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、神通、北上

夏潮、戸初雪、白雪、吹雪、霞、陽炎

戸呂五七▲、戸呂五八▲、戸呂五九▲、戸伊五三▲

戸伊五四▲、戸伊五五▲、戸伊五八▲、戸伊一二▲

戸伊七四、戸伊七五、戸伊七〇、戸伊六八、戸伊七三、

戸伊七一、戸伊七二、戸伊二二、戸伊五六、

戸伊六九

驅潜特五一▲、驅潜特五二▲、驅潜特五三▲

哨四六▲、哨三四▲、哨三五

櫻野、襟裳、隠戸

【大阪】

國後 (日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

【神戸】

(瑞鶴)▲(伊良湖)▲(伊一〇)▲(伊二五)▲

【相生】

(伊三)▲(伊四二)▲(伊一一)▲

【相玉】

(驅潜一九)▲

【德山】

(伊六〇)▲

【別府灣】

(驅潜二〇)▲

【佐伯】

朝日

【伊豫灘】

那智

【舞鶴】

瑞鳳、鳳翔

【伊豫灘】

夕風、三日月、黒潮

【舞鶴】

伊二一

【伊豫灘】

哨三一、哨三二、哨三三

【伊豫灘】

問宮、室戸

【伊豫灘】

千代田

【伊豫灘】

吾妻▲、木曾、龍田、口多摩

【伊豫灘】

薄雲▲

【伊豫灘】

鳩、鷺

【伊豫灘】

戸呂三四▲

【伊豫灘】

野島 哨三六▲、哨三七▲

【伊豫灘】

(夕雲)▲

【伊豫灘】

加賀、出雲

【伊豫灘】

白露、有明、夕暮、時雨

【伊豫灘】

戸呂三〇▲、戸呂三一▲、戸呂三二▲、戸呂三三▲

【伊豫灘】

戸呂六〇▲、戸伊五九▲

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百六十七號

昭和十六年八月九日(七)

海軍大臣官房

○通牒

契庶機密第二一七號

昭和十六年八月六日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

統制契約ニ關スル件通牒

首題ノ件別表ノ通契約締結致候條該當品ハ本契約ニ依
リ處理相成度
追テ契約書ハ所要ノ向ニ別途配付ス

(別紙添)

○雜款

○將旗移揚

第四潜水戰隊司令官ハ八月四日將旗ヲ伊號第五十六潛
水艦ヨリ伊號第五十八潜水艦ニ移揚セリ

○將旗復歸

第二遣支艦隊司令長官ハ八月五日將旗ヲ尾柄ニ復歸セ

リ

○郵便物發送先

當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記

司令、主計長宛

機關長、軍醫長宛

尙司令宛ニシテ直接各艇ニモ關係アル書類ハ寫ヲ各
艇長宛直送相成度

(第二十一水雷隊)

○事務所設置

下關防備隊(假稱)及由良内防備隊(假稱)設立準備
委員事務所ヲ七月三日吳鎮守府構内ニ設置シ事務ヲ開
始セリ

驅逐艦夕雲艦裝具事務所ヲ八月五日舞鶴海軍工廠内ニ
設置シ事務ヲ開始セリ

○普通軍事教育圖書

去ル七月中納庫セル普通軍事教育圖書左ノ如シ
(海軍文庫)

海軍公報(部内限) 第三千八百六十七號

昭和十六年八月九日

一〇四五

2078

海軍公報（部内限）第三千八百六十七號

昭和十六年八月九日

一〇四六

圖書名	標記番號	類別
日本の歴史	海軍省教普第一四〇八號	備品
支那忠勇列傳 <small>陸軍之部 第拾六卷</small>	海軍省教普第三四四號拾六	備品
支那事變盡忠錄 第二卷	海軍省教普第一三四七號二	備品
マレー語てびき		消耗品扱
戰陣訓讀本		消耗品扱
三國同盟と日米戰		消耗品扱
米國の内幕		消耗品扱
教育勅語服膺の道		消耗品扱
禮法要項		消耗品扱
横須賀、吳、佐世保鎮守府文庫共納庫		

2079

(別表)

統制契約締結一覽表

(昭和十六年八月九日海軍公報(部内限))

統制契約番號	契約品名	請負者	契約締結月日	契約期間
一六經契第九〇二號	化粧石鹼	花王石鹼株式會社 三輪善兵衛株式會社	一六—七—一	至自 一七—六—七 一六—三—〇
一六經契第五一三號	磷寸	日本磷寸共販株式會社	一六—四—一	至自 一七—六—三 一六—三—一
一六經契第五一〇號	乾電池	湯淺蓄電池製造株式會社 高砂工業株式會社 屋井乾電池株式會社 松下乾電池株式會社 株式會社金子電氣商會 日本電業株式會社 朝日乾電池株式會社 東海乾電池株式會社	一六—六—一	至自 一七—六—五 一六—三—一
一六經契第五〇一號	石棉製品 (短岩綿保溫紐一號) ヲ含ム	株式會社榮屋石綿紡織所 三好石綿工業株式會社	一六—四—一	至自 一七—六—四 一六—三—一
一六經契第五〇五號	タイガー計算器	タイガー計算器株式會社	同	同
一六經契第九〇三號	エーテル	和泉アスベスト株式會社 日本バルカー工業株式會社 日本アスベスト株式會社 合資會社逸見式保溫材料研究所 東邦石綿工業株式會社 東洋石綿株式會社 カナエ石綿工業株式會社 株式會社五稜石綿紡織所 朝日石綿紡織株式會社 株式會社安藤石綿 株式會社安藤石綿 バツキング製造所	一六—八—一	至自 一七—六—七 一六—三—〇
一六經契第九〇九號	石炭酸	帝國染料株式會社	一六—八—一	至自 一七—六—七 一六—三—〇
一六經契第九〇六號	ダイナマイト外四廉	日本火藥共販株式會社	一六—六—一	至自 一七—六—三 一六—三—〇
一六經契第九〇八號	アスファルト アスファルト アスファルト アスファルト 砂付ルーフィング 次亞硫酸曹達 メイトロキノン	日建工業株式會社 田島應用工業株式會社 酒井辰彌 日本建材工業株式會社 合資會社淺沼商會	一六—七—一	至自 一七—六—七 一六—三—〇
一六經契第九〇四號	ヨード・ヨード加里 硅酸曹達	日本製鍊株式會社	一六—六—五	至自 一七—六—六 一六—三—〇
一六經契第九〇八號	鹽化バリウム	堺化學工業株式會社	一六—七—一	至自 一七—六—八 一六—三—〇
一六經契第九〇八號	鹽化カルシウム	合資會社小西宗七商店	一六—五—五	至自 一七—六—五 一六—三—〇
一六經契第九〇八號	工業用酒石酸 日本藥局方酒石酸	大日本製藥株式會社	一六—七—一	至自 一七—六—六 一六—三—〇
一六經契第九〇八號	硝酸加里	日本製鍊株式會社	一六—五—一	至自 一七—六—五 一六—三—〇
一六經契第九〇八號	鹽化カルシウム	日本曹達株式會社	一六—五—二〇	至自 一七—六—五 一六—三—〇
一六經契第九〇六五號	純硫酸 純硝酸 純硫酸(更改) 純硝酸(更改)	北海曹達株式會社 株式會社安宅商會	一六—四—一	至自 一六—六—二 一六—三—一
一六經契第九〇六三號	醋酸(更改)	株式會社武田長兵衛商店 株式會社小西安兵衛商店	同	同
一六經契第九〇五七號	重炭酸曹達 純無水炭酸曹達 (更改)	旭硝子販賣株式會社	同	同
一六經契第九〇五八號	苛性曹達 苛性曹達(更改)	株式會社安宅商會	同	同
一六經契第九〇六二號	工業用硝酸(更改)	株式會社安宅商會	同	同
一六經契第九〇六四號	純硫酸(更改) 純硝酸(更改)	田邊化學工業株式會社 入江七平	同	同
一六經契第九〇九號	鉛	日本鉛亞鉛アンチモン統制組合	同	同
一六經契第九〇七號	錫	錫統制組合	同	同
一六經契第九〇五六號	苛性曹達 曹達灰(更改)	日本アムモニヤ法曹達 販賣株式會社	一六—七—一	至自 一七—六—七 一六—三—〇

○艦船所在

指^レ定^ヲ要^セズ

八月九日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、能登呂▲、▽神威

澤風▲、伊一六、伊一七、伊四、伊五

知床、伊三三▲、(伊三三)▲、(伊三三)▲

石廊、(伊三七)▲、(津輕)▲、(伊三三)▲、(伊三三)▲

【長浦】

萩風▲、嵐▲

呂六二▲、呂六二▲

哨一▲、哨二▲

【横濱】

(筑紫)▲

【浦賀】

(秋雲)▲

【大湊】

石垣

伊五二、驅潜一五、驅潜二三、驅潜一四

【吳】

大泊、淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、神通、北上、大井

夏潮、▽初雪、白雪、吹雪、▽夕霧、朝霧、天霧、狹霧

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、▽伊五三▲、伊五四

伊五五▲、▽伊五六▲、伊二三▲、▽伊七四、伊七五、伊七〇、伊六八、▽伊七三、伊七一、伊七二、伊三三、▽伊五六、▽伊六九

驅潜特五二▲、驅潜特五三▲、驅潜特五三▲

【大阪】

國後、(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲

【神戸】

(瑞鶴)▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲

【相生】

(伊三三)▲、(伊四一)▲、(伊一一)▲

【相玉】

(驅潜一九)▲、(伊六〇)▲

【徳山】

(驅潜二〇)▲

【別府灣】

朝日、那智、瑞鳳、鳳翔

【佐伯】

夕風、三日月、黑潮

【伊豫灘】

伊二二、哨三、哨三、哨三

【舞鶴】

室戸、千代田、吾妻▲、木曾、龍田、口多摩、薄雲▲、鳩、鷺

【佐世保】

呂三〇▲、呂三二▲、呂三三▲、呂三三▲、呂三三▲、呂六〇

【伊賀】

哨三六▲、哨三七▲

【加賀】

(夕雲)▲、加賀、出雲、▽蒼龍、飛龍

【白鷺】

有明、夕暮、時雨、▽菊月、夕月、卯月

海軍公報(部内限)第三千八百六十七號

昭和十六年八月九日

一〇四七

【古江】

野分 峯風、沖風
野分 驅潛一六、驅潛一七、驅潛一八
野島、間宮
宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、口足柄、
八丈、古守、嵯峨、橋立、口磐手、口名取、
口長門、陸奥、口日向、伊勢、扶桑、口比叡、
霧島、榛名、金剛、口川内、口高雄、鳥海、
摩耶、愛宕、口加古、衣笠、古鷹、青葉、
妙高、羽黑、口熊野、三隈、最上、鈴谷、
口利根、口筑摩、口那珂、口長良、口巖島、
八重山、口長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、口鹿島、
天龍、常磐、口夕張、口迅鯨、口香取、
口大鯨、口五十鈴、口赤城、口龍驤、口千歲、
口香椎、駒橋、口由良、球摩、勝力、口沖島、
栗、梅、蓮、刈萱、口秋風、太刀風、羽風、
朝風、旗風、口文月、草月、水無月、長月、
口曉、響、雷、電、口湖、曙、朧、漣、
口吳竹、早苗、若竹、口白雲、東雲、叢雲、
口綾波、磯波、敷波、浦波、口若葉、初霜、
口日、初春、口大潮、荒潮、口夏雲、峯雲、
朝雲、山雲、口朝潮、口早潮、親潮、

【作業地】

宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、口足柄、
八丈、古守、嵯峨、橋立、口磐手、口名取、
口長門、陸奥、口日向、伊勢、扶桑、口比叡、
霧島、榛名、金剛、口川内、口高雄、鳥海、
摩耶、愛宕、口加古、衣笠、古鷹、青葉、
妙高、羽黑、口熊野、三隈、最上、鈴谷、
口利根、口筑摩、口那珂、口長良、口巖島、
八重山、口長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、口鹿島、
天龍、常磐、口夕張、口迅鯨、口香取、
口大鯨、口五十鈴、口赤城、口龍驤、口千歲、
口香椎、駒橋、口由良、球摩、勝力、口沖島、
栗、梅、蓮、刈萱、口秋風、太刀風、羽風、
朝風、旗風、口文月、草月、水無月、長月、
口曉、響、雷、電、口湖、曙、朧、漣、
口吳竹、早苗、若竹、口白雲、東雲、叢雲、
口綾波、磯波、敷波、浦波、口若葉、初霜、
口日、初春、口大潮、荒潮、口夏雲、峯雲、
朝雲、山雲、口朝潮、口早潮、親潮、

【航海中】

夕立(五日吳發「作業地」)

雪風、時津風、天津風、初風、口不知火、
磯、波、陽炎、口村雨、五月雨、口春雨、
海風、江風、山風、涼風、口谷風、浦風、
磯風、濱風、口汐風、帆風、矢風、口追風、
疾風、夕風、朝風、口陸月、如月、望月、
彌生、口神風、沼風、野風、波風、滿潮、
松風、口春風、口朝顔、芙蓉、舞風、
友鶴、鴻、隼、鴨、口雁、雉、真鶴、口初雁、
口呂六三、口呂六四、口呂六八、口呂六五、口呂六六、
口呂六七、口伊二、口伊一、口伊三、口伊六、口伊七、
口伊八、口伊九、口伊一五、口伊二〇、口伊一八、
口伊一九、口伊五七、口伊六一、口伊六一、口伊六四、
口伊六五、口伊六六、口伊二四、口伊二三、口伊二一、
口掃六、口掃一、口掃三、口掃四、口掃五、口掃七、
口掃八、口掃九、口掃一〇、口掃一一、口掃一二、口掃一三、
口掃一四、口掃一五、口掃一六、口掃一七、口掃一七、
口掃一八
驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、驅潛五、
驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、
驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、
鳴戸、宗谷、嶺津、佐多、尻矢、早鞆、

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千八百六十八號

海軍大臣官房

昭和十六年八月十一日(月)

〇令、達

官房第四二五二號

昭和十六年度歳出科目中左ノ通追加ス
昭和十六年八月九日

臨時、部 海軍大臣

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
金屬類特別 回收諸費	金屬類特別 回收諸費	應 費			ケレ
		各所修繕			ケツ
		雜給及雜費			ケネ

官房機密第七二二六號 昭和十五年官房機密第六七八五號中左ノ通改正ス	官房機密第七二二七號 昭和十五年官房機密第六七八六號中左ノ通改正ス 昭和十六年八月十一日	第一艦隊 吳鎮守府 ニ改ム	第三艦隊 吳鎮守府 ヲ	第五根據地隊 横須賀鎮守府 ヲ	第四根據地隊 横須賀鎮守府 ニ改ム	第五根據地隊 横須賀鎮守府 ニ改ム
--------------------------------------	--	---------------------	-------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------

海軍公報(部内限)第三千八百六十八號 昭和十六年八月十一日

一〇四九

(昭和十五年十月十五日及昭和十六年四月廿日本欄参照)

○通牒

軍務一第一八八號

昭和十六年八月九日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

綿製品等輸入防止ニ關スル件申進

近來事變地勤務者又ハ事變地ヨリ歸還者ニシテ多量ノ綿製品、皮革品、護謨製品等ヲ内地ニ郵送又ハ携帶輸入スル向アル處右ハ爲替管理法違反ナルニ付可然取締相成度

追テ出征軍人ニ對シテハ綿製品一、二反ノ如キ少量ノ場合(皮革製品、護謨製品モ之ニ準ズ)ハ土産品又ハ手荷物トシテ無税ノコトニ取計ハルベク候

○辭令

海軍機關大尉 上田 勝夫

教育部勤務ヲ命ス(五八〇)海軍航空本部

○雜款

○司令驅逐艦一時變更
第四驅逐隊司令ハ八月八日司令驅逐艦ヲ一時嵐ヨリ萩風ニ變更セリ

○司令砲艦變更
第八砲艦隊司令ハ八月八日司令砲艦ヲ長田丸ヨリ朝海丸ニ變更セリ

○事務所移轉
舞鶴海軍病院内ニ設置中ノ山中海軍病院(假稱)設立準備委員事務所ヲ八月二十五日ヨリ左記ニ移轉ス
石川縣江沼郡山中町

○訂正
八月六日辭令欄一〇二八頁下段十六行目「海軍省事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス」ヲ「海軍省事務ヲ囑託ス」ニ訂正

○正誤
昨年十二月二十三號外官房機密第八三九六號別表第一民間行爲ノ欄第一號第二段中「丙類」ハ「丙類」ノ、本年八月六日通牒欄「兵備機密(二第七三〇號)ハ「兵備二機密第七三〇」ノ孰モ誤

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

八月十一日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、能登呂▲、▷神威

澤風▲

伊一六、伊一七、伊四、伊五、伊二四

知床

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊三)▲、(伊三)▲

(伊三七)▲

【長浦】

萩風▲、嵐▲

呂六一▲、呂六一▲

哨一▲、哨二▲

【横濱】

(筑紫)▲

【浦賀】

(秋雲)▲

【大湊】

石垣

伊五

驅潜一五、驅潜二三、驅潜二四

大泊

淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、神通、北上、

大井

夏潮、▷初雪、白雪、吹雪、▷夕霧、朝霧、

天霧、狹霧

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、伊五四、

伊五五▲、▷伊五八▲、伊二三▲、伊七五、

伊七〇、伊六八、▷伊七三、伊七一、伊七三、

伊二三、▷伊五六、▷伊六九

驅潜特五一▲、驅潜特五二▲、驅潜特五三▲

哨四六▲、哨三四、哨三五

櫻野、隱戸

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲

驅潜二二▲

(瑞鶴)▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲

(伊三一)▲、(伊四一)▲、(伊一一)▲

(驅潜一九)▲

伊六〇▲

(驅潜二〇)▲

朝日、襟裳

那智

瑞鳳、鳳翔

夕風、三日月、黒潮

伊二二

哨三一、哨三三、哨三三

室戸

千代田

吾妻▲、木曾、龍田、▷多摩

薄雲▲

鳩、鷲

呂三四▲

哨三六▲、哨三七▲

野島

(夕雲)▲

加賀、出雲、▷蒼龍、飛龍

白鷺、有明、夕暮、時雨、▷菊月、夕月、

卯月、▷白雲、東雲、叢雲

呂三〇▲、呂三二▲、呂三三▲、▷呂三三▲、呂六〇、

伊五九▲

海軍公報(部内限)第三千八百六十八號

昭和十六年八月十一日

一〇五二

2085

【古江】
 哨三九、哨三八
 敷島▲
 (伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲
 峯風、沖風
 野分、戸朝顔、芙蓉、舞風
 驅潜一六

【作業地】
 戸宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
 鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、戸足柄、
 八丈、古守、嵯峨、橋立、戸磐手、戸名取、
 戸長門、陸奥、戸日向、伊勢、扶桑、戸比叡、
 霧島、榛名、金剛、戸川内、戸高雄、鳥海、
 摩耶、愛宕、戸加古、衣笠、古鷹、青葉、
 妙高、羽黒、戸熊野、三隈、最上、鈴谷、
 戸利根、筑摩、戸那珂、戸長良、戸嚴島、
 八重山、戸長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、戸鹿島、
 天龍、常磐、戸夕張、戸迅鯨、戸香取、
 戸大鯨、戸五十鈴、戸赤城、戸龍驤、戸千歲、
 瑞穂、戸山良、球摩、勝利、戸沖島、
 戸香椎、駒橋

栗、梅、蓮、刈萱、戸秋風、太刀風、羽風、
 朝風、旗風、戸文月、皋月、水無月、長月、
 戸曉、響、雷、電、戸潮、曙、朧、
 戸吳竹、早苗、若竹、戸綾波、磯波、敷波、
 浦波、戸若葉、初霜、子日、初春、戸大潮、
 荒潮、戸夏雲、峯雲、朝雲、山雲、戸朝潮、
 戸早潮、親潮、戸雪風、時津風、天津風、
 初風、戸不知火、霞、霧、陽炎、村雨、
 五月雨、春雨、戸海風、江風、山風、

涼風、戸谷風、浦風、磯風、濱風、戸汐風、
 帆風、矢風、戸追風、疾風、夕風、朝風、
 戸陸月、如月、望月、彌生、戸神風、沼風、
 野風、波風、滿潮、松風、戸春風、
 戸鶴、鴻、隼、鴨、戸雁、雉、真鶴、戸初雁、
 友鶴、千鳥

戸呂六三、戸呂六四、戸呂六八、戸呂六五、戸呂六六、
 戸呂六七、戸伊二、戸伊一、戸伊三、戸伊六、戸伊七、
 戸伊八、戸伊九、戸伊一五、戸伊二〇、戸伊一八、
 戸伊一九、戸伊五七、戸伊六一、戸伊六二、戸伊六四、
 戸伊六五、戸伊六六、戸伊二三、戸伊三二、
 戸伊六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、戸掃七、
 掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、戸掃一三、
 掃一四、掃一五、掃一六、掃一六、戸掃一七、
 掃一八
 戸驅潜一、驅潜二、驅潜三、戸驅潜四、驅潜五、
 戸驅潜六、戸驅潜七、驅潜八、驅潜九、
 戸驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二、驅潜一七、
 驅潜一八
 明石、宗谷、攝津、佐多、尻矢、鶴見、
 鳴戸、間宮

【航海中】
 戸夕立 (五日吳發一作業地へ)
 戸國後 (六日作業地發一佐世保へ)
 戸伊七西 (八日吳發一作業地へ)
 石廊 (九日横須賀發一吳へ)
 早鞆 (九日才八發一徳山へ)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百六十九號

海軍大臣官房

昭和十六年八月十二日(火)

○通牒

經豫機密第三號ノ四四

昭和十六年八月十一日

海軍省 經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

日本銀行代理店設置ノ件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏省理財局長ヨリ通知有之候條了知相成度

藏理第九九二〇號

昭和十六年八月六日

大藏省理財局長 竹内新平

海軍省 經理局長 武井大助殿

今般國庫金竝ニ政府有價證券ヲ取扱フ日本銀行代理店ヲ佛領印度支那西貢ニ設置シ昭和十六年八月十一日ヨリ之ガ取扱ヲ爲サシムルニトト相成候ニ付此段及御通知候也

追而本件ハ官報ニ告示ノ手續ヲ採ラザルニ付御含ミ置相成度

○辭令

海軍技術會議議員海軍中佐 人見録一郎

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス

海軍艦政本部造兵監督官兼造船監督官海軍中佐 大山豊次郎

神戶監理官ヲ命ス

神戶監査官ヲ命ス

海軍艦政本部造船監督官兼造兵監督官海軍造船大佐 西村彌平

浦賀監理長ヲ命ス

浦賀監査長ヲ命ス(以上ハ海軍省)

海軍大佐 堀江義一郎(艦本)

海軍中佐 田中正雄(同)

(各通) 海軍造船大佐 榊方楢三郎(艦本監)

海軍造船大尉 河東克己(艦本)

海軍豫備大尉 綿貫有士(艦本)

海軍公報(部内限) 第三千八百六十九號 昭和十六年八月十二日

一〇五三

2087

第二十號驅潛艇審議委員ヲ命ス
海軍技師 福間 武美(艦本監)

海軍大佐 水井 靜治(艦本)

海軍機關少佐 山上 實(同)

(各通) 海軍豫備中尉 内 崎 強(三驅潛)

海軍技師 石橋 福次(艦本監)

同 大野 英雄(同)

同 小野寺 廣介(同)

第二十一號驅潛艇審議委員ヲ命ス(以上皆海軍艦政本部)

○ 雜 款

○將旗移揚

第四潜水戦隊司令官ハ八月四日將旗ヲ伊號第五十八潜水艦ニ移揚セリ

○司令驅逐艦變更

第二驅逐隊司令ハ八月六日司令驅逐艦ヲ村雨ヨリ夕立ニ變更セリ

○郵便物發送先

瑞鶴艦裝員事務所宛

八月十四日以後到達見込ノモノハ

吳郵便局氣付

○郵便物閉塞交換廢止
特務艦尻矢及同隱戸ト横濱郵便局間ニ交換中ノ軍艦郵便ハ廢止セラレタリ

○事務所設置
大連地方在勤海軍武官府事務所ヲ七月二十八日大連埠頭「ビル」内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○特務艦襟裳行動豫定

地名 着

發

吳	德	舞	佐	宿	佐	吳
山	鶴	保	毛	伯	世	伯
八月九日	八月十三日	八月十七日	八月十九日	八月十九日	八月十九日	八月十九日
八月九日	八月十一日	八月十五日	八月十七日	八月十九日	八月十九日	八月十九日

○ 艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

八月十二日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、▽神威、常磐澤風▲、伊一六、伊一七、伊四、伊五、伊二四

知床

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊三三)▲、(伊三三)▲、(伊三七)▲

【長浦】

▽萩風▲、嵐▲、呂六▲、呂六二▲、哨一▲、哨二▲

【鶴見】

能登呂▲、筑紫▲、(秋雲)▲

【浦賀】

石垣

伊五二、▽驅潜二五、驅潜二三、驅潜二四

【吳】

大泊、淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、神通、北上、大井、夏潮、▽初雪、白雪、吹雪、▽夕霧、朝霧、天霧、狹霧

▽呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、▽伊五三▲、伊五四、伊五五▲、▽伊五八▲、伊二三▲、伊七五、伊七〇、伊六八、▽伊七三、伊七一、伊七三、伊三三、▽伊五六、▽伊六九

▽驅潜特五一▲、驅潜特五二▲、驅潜特五三▲

【大坂】

▽驅潜二二▲、瑞鶴▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲、(伊三三)▲、(伊四一)▲、(伊一一)▲

【相生】

▽驅潜一九▲、伊六〇▲、(驅潜二〇)

【徳山】

朝日、襟裳、那智

【別府灣】

瑞鳳、鳳翔、夕風、三日月、黒潮

【伊豫灘】

千代田、室戸、哨三、哨三、哨三

【舞鶴】

吾妻▲、木曾、龍田、▽多摩、薄雲▲、鳩、鷲

呂三四▲、呂三六▲、哨三七▲

【佐世保】

加賀、出雲、▽蒼龍、飛龍

▽白霧、有明、夕霧、時雨、▽菊月、夕月、卯月、▽白雲、東雲、叢雲、呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、▽呂三三▲、呂三三▲、呂六〇

海軍公報(部内限) 第三千八百六十九號

昭和十六年八月十二日

一〇五五

海軍公報 (部内限) 第三千八百七十號

昭和十六年八月十三日(水)
海軍大臣官房

○通牒

海人第一二三號

昭和十六年八月十二日

海軍省人事局長

各鎮守府
各要港部
各艦隊部
海軍警備府
各所
參謀長
殿

異動ニ伴フ赴任促進ニ關スル件申進

海軍軍人軍屬ノ赴任ニ關シテハ從來克ク規定ヲ勵行セラレ來リタル處近來諸種ノ事情ニ依リ赴任遅延ノ傾向アリ斯クテハ今後異動益々廣範圍ニ亘ルノミナラズ迅速ニ完了スルコト緊要ナル際其ノ要求ニ應ジ難ク存ゼラレ候ニ付テハ各司令部及所轄ニ於テハ左記方法等ニ依リ可及的速ニ異動ヲ完了シ得ル如ク配慮相成度

記

- 一、電報(電話)通知ニ依リ發動ス
- 二、後任者ノ着任遅ルルモノハ狀況ニ依リテハ代理者

ヲ置ク等ノ方法ヲ講ジ速ニ赴任セシム

(本年五月十三日海人第九四號海軍士官及豫備士官ノ異動ニ關スル件参照(五月十四日海軍公報))

經物第一三六號

國有財産整理資金ノ歳入徴收官收入區分左ノ通改正セラレ候

昭和十六年八月十二日

海軍省經理局長

海軍省經理局長	東京所在ノ雜種財産ヨリ生ズル收入
横須賀海軍經理部長	横須賀鎮守府管區内(東京所在、要港部管區及火藥廠、燃料廠ニ屬スルモノヲ除ク)ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入
吳海軍經理部長	吳鎮守府管區内(燃料廠ニ屬スルモノヲ除ク)ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入
佐世保海軍經理部長	佐世保鎮守府管區内(鎮海、馬公要港部管區及燃料廠ニ屬スルモノヲ除ク)及支那ニ在ル雜種財産ヨリ生ズル收入

海軍公報(部内限) 第三千八百七十號 昭和十六年八月十三日

一〇五七

舞鶴海軍經理部長	舞鶴鎮守府管區内(火藥廠ニ屬スルモノヲ除ク)ニ在ル雜種財產ヨリ生ズル收入
大湊海軍經理部長	大湊要港部管區内ニ在ル雜種財產ヨリ生ズル收入
鎮海海軍經理部長	鎮海要港部管區内ニ在ル雜種財產ヨリ生ズル收入
馬公海軍經理部長	馬公要港部管區内ニ在ル雜種財產ヨリ生ズル收入
第一乃至第三海軍火藥廠長	各其ノ火藥廠ニ屬スル雜種財產ヨリ生ズル收入
第一乃至第五海軍燃料廠長	各其ノ燃料廠ニ屬スル雜種財產ヨリ生ズル收入
(會計法規類集上卷五八四ノ三頁參照)	
艦本機密第一號ノ七六〇三	
昭和十六年八月十二日	
海軍 艦政 本部長	
關係各廳長殿	
十三耗以下各種機銃曳跟彈藥包不良品ヲ普通彈藥包ノ代用トシテ供給ノ件通牒(砲術長主管)	
十三耗以下各種機銃曳跟彈藥包ニシテ検査ノ結果曳跟不良ナルモノヲ年度訓練用、諸試驗等ニ充當スベキ普通彈包ノ代品トシテ供給スルコトアルベキニ付了知相成度	
<p>追テ右彈藥包ハ其ノ彈藥包筐表面ニ普通彈藥包ノ代品ナル旨標記有之候</p> <p>航本第六八二七號</p> <p>昭和十六年八月十二日</p> <p style="text-align: right;">海軍航空本部總務部長</p> <p style="text-align: right;">海軍各工作廳總務部長殿</p> <p style="text-align: right;">金屑置場火災防止ニ關スル件通知</p> <p>本年三月二十一日海軍航空技術廠會計部金屑置場ノ一部ニ火災事故アリ之ガ原因ヲ探究セルニ「マグネシウム」合金ノ粉末及削屑ガ水分ヲ吸收セル結果化學反應ヲ起シ次第ニ熱量ヲ蓄積シ自然發火ニ至レル疑濃厚ニシテ同廠ニ於ケル實驗ノ結果ニ依ルモ之ガ可能性ヲ認メラザタルヲ以テ同金屑ハ發生ノ都度可及的速ニ處分スルコトトシ止ムヲ得ズ堆積スル場合ニハ特ニ濕氣防止ニ注意シ下層部ノ溫度上昇ニ關シ適宜點檢ノ要アリト認メラレ候條可然取計相成度</p>	
○ 辭 令	
軍令部部員陸軍中佐 榊田 正夫	
第一部第一課勤務ヲ命ズ(ハカ軍令部)	

2092

軍令部出仕海軍少佐 小山 亨

副官部勤務ヲ命ス(ハコ同)

陸軍中佐 榎田 正夫

參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス(ハコ)大本營海軍部

佐世保海軍經理部
部員海軍主計少佐 熊谷 善男

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計少佐 兒 玉 茂

艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(以上前支出官 海軍省經理局長)

海軍中佐 岡田 有作(艦本)

同 渡邊 薰雄(航本)

海軍少佐 柴田 源一(伊三潛)

海軍大尉 徳永 一孝(同)

(各通) 海軍機關中佐 二見 伸一(横廠)

同 熱田 佐太郎(艦本)

同 本橋 精一(吳廠)

海軍機關大尉 金森 末男(伊三潛)

海軍造船少佐 秋山 忠良(横廠)

伊號第二十三潜水艦審議委員ヲ命ス(ハコ)海軍艦政本部

總務部第一課勤務ヲ命ス

海軍中佐 三田 國雄

總務部第二課勤務ヲ命ス 海軍主計少佐 間所 義人

海軍整備特務少尉 椎 塚 直

教育部附ヲ命ス

海軍技師 砂見 淳一

補給部勤務ヲ命ス(以上ハコ)海軍航空本部

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第三十驅逐隊司令ハ八月九日司令驅逐艦ヲ陸月ヨリ如月ニ變更セリ

○司令驅逐艦復歸

第十八驅逐隊司令ハ八月八日司令驅逐艦ヲ不知火ヨリ霞ニ復歸セリ

○司令潜水艦復歸

第三潜水隊司令ハ八月七日司令潜水艦ヲ伊號第二十二潜水艦ニ復歸セリ

<p>舞 鎮 佐 宿 佐 佐 光 吳 橫</p>		<p>神 吳 佐 佐 宿 三 橫 神 吳 舞 佐</p>	
<p>鶴 海 伯 毛 伯 保 世 須 賀</p>		<p>戶 保 伯 毛 灣 賀 戶 鶴 保 世 名</p>	
<p>八月廿二日</p>		<p>八月九日</p>	
<p>八月十四日</p>		<p>八月十一日</p>	
<p>八月十五日</p>		<p>八月十二日</p>	
<p>八月十六日</p>		<p>八月十三日</p>	
<p>八月十七日</p>		<p>八月十四日</p>	
<p>八月十八日</p>		<p>八月十五日</p>	
<p>八月十九日</p>		<p>八月十六日</p>	
<p>八月二十日</p>		<p>八月十七日</p>	
<p>八月廿一日</p>		<p>八月十八日</p>	
<p>八月廿二日</p>		<p>八月十九日</p>	
<p>八月廿三日</p>		<p>八月二十日</p>	
<p>八月廿四日</p>		<p>八月廿一日</p>	
<p>八月廿五日</p>		<p>八月廿二日</p>	
<p>八月廿六日</p>		<p>八月廿三日</p>	
<p>八月廿七日</p>		<p>八月廿四日</p>	
<p>八月廿八日</p>		<p>八月廿五日</p>	
<p>八月廿九日</p>		<p>八月廿六日</p>	
<p>八月三十日</p>		<p>八月廿七日</p>	
<p>八月三十一日</p>		<p>八月廿八日</p>	
<p>八月三十一日</p>		<p>八月廿九日</p>	
<p>八月三十一日</p>		<p>八月三十日</p>	
<p>八月三十一日</p>		<p>八月三十一日</p>	

鎮南浦 二十五日 三十一日

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

八月十三日午前十時

【横須賀】

春日▲ 劍埼▲、山城▲、神威▲、常磐▲、翔鶴▲
澤風▲

伊一六、伊一七、伊四、伊五、伊二四

【長浦】

津輕▲ (伊三)▲ (伊三三)▲ (伊三七)▲
萩風▲ 嵐▲
呂六一▲、呂六二▲

【鶴見】

能登呂▲
筑紫▲

【浦賀】

秋雲▲
石垣

【吳】

伊五二
驅潛一五、驅潛二三、驅潛二四、
大泊

淺間▲ 八雲▲、鬼怒、阿武隈、神通、北上、
大井

夏潮、初雪、白雪、吹雪、夕霧、朝霧、
天霧、狹霧

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、伊五四、
伊五五▲、伊五八▲、伊二三▲、伊七五、
伊七〇、伊六八、伊七三、伊七一、伊七二、
伊三三、伊五六、伊六九

驅潛特五二▲、驅潛特五三▲、驅潛特五三▲、
哨四六▲、哨三四、哨三五

【大 阪】

樺野、隱戸、間宮
日進▲ (伊二七)▲ (伊三五)▲ (伊七六)▲
驅潛二一▲

【相 生】

瑞鶴▲ (伊良湖)▲ (伊一〇)▲ (伊二五)▲
伊三一▲ (伊四一)▲ (伊一一)▲
驅潛一九▲
伊六〇▲
驅潛二〇

【德 山】

朝日
那智

【別 府】

鳳翔
夕風、黒潮

【伊 豫】

千代田
室戸
哨三二、哨三三、哨三三

【舞 鶴】

吾妻▲、本曾、龍田、口多摩
薄雲▲
鳩、鷲

呂三四▲
哨三六▲、哨三七▲

【佐 世 保】

加賀、出雲、飛龍
白露、有明、夕暮、時雨、白雲、東雲、叢雲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇、
伊五九▲

哨三九、哨三八
敷島▲

【古江】

(伊二四) (伊二九) (伊三九)

【鎮海】

野分、朝顏、芙蓉、舞風

【作業地】

宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、勢多、堅田、保津、隅田、足柄、古守、嵯峨、橋立、磐手、名取、陸奥、日向、伊勢、扶桑、比叡、長門、陸奥、日向、伊勢、扶桑、比叡、霧島、榛名、金剛、川内、高雄、愛宕、加古、衣笠、古鷹、青葉、妙高、羽黑、熊野、三隈、最上、鈴谷、利根、筑摩、那珂、長良、八重山、長鯨、初鷹、蒼鷹、鹿島、天龍、夕張、迅鯨、香取、大鯨、五十鈴、赤城、蒼龍、龍驤、千歲、瑞穂、山良、球磨、勝力、香椎、駒橋、栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、羽風、朝風、旗風、文月、皋月、水無月、長月、曉、響、雷、電、潮、曙、隴、漣、吳竹、早苗、若竹、綾波、磯波、敷波、浦波、若葉、初霜、子日、初春、大潮、荒潮、夏雲、峯雲、朝雲、山雲、朝潮、早潮、親潮、雪風、時津風、天津風、初風、親潮、不知火、霞、陽炎、村雨、五月雨、春雨、海風、江風、山風、涼風、谷風、浦風、磯風、濱風、汐風、帆風、矢風、追風、疾風、夕風、朝風、如月、陸月、望月、彌生、神風、沼風

【航海中】

野風、波風、滿潮、松風、春風、菊月、夕月、卯月、友鶴、千鳥、呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、呂六七、伊二、伊一、伊三、伊六、伊七、伊八、伊九、伊一五、伊二〇、伊一八、伊一九、伊五七、伊六六、伊六二、伊六四、伊六五、伊六六、伊六三、伊三二、伊六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、掃一八、驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、驅潛一七、驅潛一八、明石、宗谷、攝津、佐多、尻矢、鳴戸

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十六年八月十三日(水)

○ 通 牒

兵備三機密第八四八號

昭和十六年八月十三日

海軍省 兵備局長

關係各廳長殿

青島港團島岬無線標識局業務開始ノ件通牒

首題ノ件別紙要領ニ依リ七月一日ヨリ業務開始ノ旨通知有之候條了知相成度

(別紙)

團島岬無線標識局業務開始要領

記
青島港團島岬無線標識局昭和十六年(民國三十年)七月一日ヨリ左記ニ依リ標識業務ヲ開始ス

一、名 稱 團島岬無線標識局

二、呼 出 符 號 XRU

海軍公報 (部内限) 號外

2097

三、位

置

北緯 三六度 二分四五秒 (海軍海圖第三七八號ニ依ル)
東徑 一二〇度 十六分五四秒 (游内山燈臺ノ北東七〇米)

四、發射電波ノ型式及周波數

A 二電波 三〇〇 KC (標識用)

五、聽取電波ノ型式及周波數

A 一、A 二及 B 電波 五〇〇 KC

六、標 識 符 號

D T

七、船舶無線電信ト交信ヲナス連絡無線電信ノ名稱及呼出符號

朝連島無線羅針局 呼出符號 X R T

八、通常方位測定區域

標識局ヲ中心トスル半徑四〇浬全方位

九、其他必要ナル事項

本標識ハ回轉指向型無線識ニシテ方位測定ハ別項關島岬無線標識方位測定法ヲ參照スヘシ

關島岬無線標識方位測定法

本無線標識ハ棒型空中線ヨリ輻射スル電波ノ指向特性ヲ利用シ回轉スル棒型空中線ヨリ輻射スル電波ノ無感度線ニ依リ標識局ヨリノ方位ヲ測定スルモノニシテ中波受信裝置ノミヲ有スル船舶ニ在リテモ方位測定ヲ爲シ得ルモノナリ

標識局ニ於ケル信號送信用棒型空中線ハ輻射電波ノ無感度線ガ北ヲ基點トシテ東廻リニ回轉シ前ノ半回轉ハ標識信號ヲ、後ノ半回轉ハ終止符號、局名符號(D T)及前置符號(A)ヲ送リツツ約一分間ニ一回轉ヲ爲ス

一、標識局ノ位置

北緯 三六度 二分四五秒 (海軍海圖第三七八號ニ依ル)
東徑 一二〇度 一六分五四秒 (游内山燈臺ノ北東七〇米)

二、標識信號ノ送信順序ハ次ノ通りトス

(一) 標識信號ノ送信開始ヲ豫知セシムルタメ前置符號トシテA符號三回(・・・)ヲ送り續ヒテ標識信號ノ送信ヲ開始ス

(二) 前置符號ノA符號三回目ノ終リノ長符ヲ長クシテ其ノ終端ヲ〇度トシ回轉角度ニ度毎ニ低調音(八〇

〇サイクルニテ變調ス)ノ標識符號(音符ノ長サハ杵型空中線ガ一度回轉ニ要スル約六分ノ一秒時ナリ)ヲ送信シツツ一八〇度ヲ回轉ス即チコノ間ニ九〇個ノ標識符號ヲ送ル而シテ低調音ノ一〇個目ハ音色ヲ變ヘ高調音(一〇〇〇サイクルニテ變調ス)トシ信號數ノ計算ヲ便ニス

(三) 一八〇度ヲ回轉シ終止符號(——)ヲ送リタル後垂直空中線ヨリ無指向電波ヲ以テ局名符號(DT)ヲ四回送信シ次ノ前置信號ノ送信ニ移ル

三、測定方法

前置信號ニ次テ送信セラルル標識信號ノ數ヲ算ヘツツ無感度(或最低感度)ノ點ニ至ル迄ノ數ヲ求メ其數ヲ二倍スレバ標識局ヨリノ眞方位ヲ得

例ヘハ標識信號ヲ計算シ六六算ヘタル時感度カ最低トナリタル時ハ六六ノ二倍即チ一三二度(船舶カ標識局ノ東側ニ在ルトキ)又ハ三三二度(船舶カ標識局ノ西側ニ在ルトキ)ナリ

四、方位測定上注意ヲ要スヘキ事項

- (一) 測定ニ當リ受信機ハ檢波及増幅ノミノ状態ニテ測定スルヲ要ス、受信感度ヲ擴大スルタメ再生回路ヲ發振セシメ「ビード」受信ヲ行フトキハ測定困難ナルノミナラズ誤差ヲ生スル虞レアルヲ以テ可及的受信器ヲ用フルヲ可トス
- (二) 距離ノ關係ニ依リ無感度點ヲ得ラレサルトキハ最小感度點ヲ又無感度ノ幅カ廣キトキハ其中間ヲ以テ求ムル方位トス
- (三) 標識信號ハ二度毎ニ發スルヲ以テ精密ナル方位ヲ知ラントスルトキハ附録方位補正表ニ依リ修正スルヲ要ス
- (四) 本標識ハ椀型空中線ノ回轉速度ノ變化ニ伴ヒ標識信號ノ送信ニ遲速ヲ生スルコトアルモ其ノ方位ニ誤差ヲ生スルコトナシ

(附録一葉添)

(附録)

(昭和十六年八月十三日海軍公報(部内限)號外)

方位補正表		
測定方位	方位信號數	補正值
七〇度—一六〇度	三五—八〇	加〇、五度乃至一度
一六〇度—一八〇度	八〇—九〇	〇
一八〇度—三三〇度	〇—二五	減一度
二三〇度—二五〇度	二五—三〇	〇
二五〇度—三三〇度	三〇—七五	加一、五度

2101

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千八百七十一號

昭和十六年八月十四日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房第四三四四號

當分ノ間海軍工廠及海軍工作部(旅順要港部工作部ヲ含ム)ハ軍事費造船造兵及修理費、及臨時軍事費造船造兵及修理費令示額中ヨリ左ノ各部ニ對シ昭和十五年官房第四七二號ニ準ジ當該所屬雜役船ノ船體、機關及兵器修理用材料ヲ供給スルコトヲ得但シ官房第四七二號ニ依ル取扱主任ハ工作長又ハ機關長ヲ置カレザル各部ニ在リテハ整備長若ハ主計長又ハ之ニ準ズル者トス防備隊、港務部、航空隊、海兵團、潜水艦基地隊、軍需部、各學校、水路部

昭和十六年八月十四日

海軍大臣

○通 牒

艦本第八號ノ四三三六

昭和十六年八月十四日

關係各廳長殿

雜役船修理用材料供給ノ件通牒

八月十四日官房第四三四四號ヲ以テ首題材料ヲ供給シ得ルコトニ定メラレ以テ作業ノ迅速回滑ヲ圖ルコトトナリタル處本材料ノ供給範圍並種類等ニ關シテハ昭和十五年艦本第一八八三號ニ準ジ別表金額ノ範圍内ニ於テ處理相成度

(別表添)

○辭 令

○昭和十六年八月一日

海軍大佐 秋吉 利雄
同 園 田 昇
同 佐 藤 壽
同 中島 新太郎
同 鍋島 俊策

(各通)

海軍公報(部内限)第三千八百七十一號

昭和十六年八月十四日

一〇六三

<p>海軍技師 石井多三</p> <p>同 青木 群造</p> <p>同 藤田 恒喜</p> <p>同 赤星 安太郎</p> <p>同 齋藤 明</p> <p>同 坂井 一貴</p> <p>同 篠崎 孝雄</p> <p>海軍屬 中根 次郎</p>	<p>(各通)</p> <p>海軍法務官 島田 清</p> <p>高等軍法會議檢察官ヲ命ス(ハハ海軍省)</p> <p>海軍法務官 島田 清</p> <p>高等軍法會議檢察官ヲ免ス(ハハ同)</p> <p>岡本 正己</p> <p>臨時軍令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス</p> <p>但シ報酬月額七拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待 遇セラル(ハハ軍令部)</p> <p>海軍機關大佐 鹽谷 儉</p> <p>同 辻、幾三郎</p> <p>第二課勤務ヲ命ス(ハハ海軍省軍需局)</p>	<p>海軍主計少佐 兒玉 茂</p> <p>第三課勤務ヲ命ス(ハハ海軍省經理局)</p> <p>○ 雜 款</p> <p>○ 將旗掲揚 第四根據地隊司令官ハ八月十一日將旗ヲ陸上廳舎ニ掲揚セリ</p> <p>○ 司令驅逐艦變更 第二十九驅逐隊司令ハ八月十一日司令驅逐艦ヲ朝風ニ變更セリ</p> <p>○ 訂正 本月四日通牒欄契九第一號ノ五七中「各經理部長、各艦附主計長宛直送ス」ヲ「各經理部長、各艦隊主計長宛直送ス」ニ、同六日雜款欄中高雄在勤海軍武官府所在地名ヲ「高雄市哨船町高雄州水産試験場内」ニ孰モ訂正ス</p> <p>○ 本日普通公報發行セズ</p>
---	---	---

海軍公報(部内限)第三千八百七十一號

昭和十六年八月十四日

一〇六五

(別表)

雑役船修理用材料供給標準

(昭和十六年八月十四日海軍公報(部内限))

船種	要目		船體	機關	兵器	計
	船	目				
曳船 (兼交通船)	一五〇噸以上	一五〇	一五〇	五〇		二〇〇
敷設艇型曳船	一五〇噸未滿	一二〇	一二〇	四〇		一六〇
驅潜艇型曳船	一五〇噸	一五〇	一五〇	五〇	二〇	二二〇
救難船	三〇〇噸以上	二〇〇	二〇〇	七〇	二〇	二九〇
	三〇〇噸未滿	一五〇	一五〇	五〇	二〇	二二〇
運搬船	二〇〇噸以上	一五〇	一五〇	五〇		二〇〇
	二〇〇噸未滿	一二〇	一二〇	四〇		一六〇
特型運貨船		八〇	八〇	三〇	二〇	一三〇
砲艇型内火艇		八〇	八〇	三〇	二〇	一三〇
内火艇		八〇	八〇	三〇		一一〇
内火ランチ		五〇	五〇	二〇		七〇
内火傳馬船		五〇	五〇	二〇		七〇
海洋觀測船		一五〇	一五〇	五〇		二〇〇
測量艇		五〇	五〇	二〇		七〇
起重機船		一〇〇	一〇〇	三〇		一三〇
浚渫船		二〇〇	二〇〇	七〇		二七〇
運貨船	二〇〇噸以上	一五〇	一五〇			一五〇
	二〇〇噸未滿	一二〇	一二〇			一二〇
水船	一五〇噸以上	一三〇	一三〇			一三〇
	一五〇噸未滿	一〇〇	一〇〇			一〇〇
重油船		一五〇	一五〇			一五〇
泥受船		五〇	五〇			五〇
標的船		三〇	三〇			三〇
其他		二〇	二〇			二〇

2105

備考

- 一、本材料ハ當該雜役船所屬各部ニ於テ直接施行スル工事ニ對シテノミ供給スルモノトス
- 二、本表金額ハ艦體機關兵器ノ區分ニ拘ラズ必要ニ應ジ流用スルコトヲ得但シ其ノ總額ヲ超過シテ使用スルコトヲ得ズ
- 三、臨時軍事費支辨雜役船ニ對スル修理用材料ハ臨時軍事費、造船造兵及修理費、其ノ他ノ雜役船ニ對シテハ軍事費、造船造兵及修理費一般配付豫算内支辨トス

○ 艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

八月十四日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、▽神威、常磐、
翔鶴、能登呂▲

澤風▲

伊一六、伊一七、伊四、伊五、伊二四

【津輕】▲(伊二三)▲(伊三三)▲(伊三七)▲

【長浦】

▲萩風▲、▲嵐▲

▲呂六一▲、▲呂六二▲

哨一▲、哨二▲

【芝浦】

知床

(筑紫)▲

(秋雲)▲

石垣

▲驅潜一五、驅潜一三、驅潜二四

大泊

【吳】 淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、神通、
北上、古鷹、大井

夏潮、▽初雪、白雪、吹雪、▽夕霧、朝霧、
天霧、狹霧

▲呂五七▲、▲呂五八▲、▲呂五九▲、▲伊五三▲、▲伊五四▲、
▲伊五五▲、▲伊五八▲、▲伊二三▲、▲伊七〇▲、
▲伊六八▲、▲伊七三▲、▲伊七一▲、▲伊七二▲、▲伊七三▲、
▲伊五六▲、▲伊六九▲

▲驅潜特五一▲、▲驅潜特五二▲、▲驅潜特五三▲

▲哨四六▲、▲哨三四▲、▲哨三五▲

櫻野、隠戸、間宮、鶴見

【大 阪】

(日進)▲(伊二七)▲(伊三五)▲(伊七六)▲

▲驅潜二一▲

▲瑞鶴▲(伊良湖)▲(伊一〇)▲(伊三五)▲

▲伊三▲(伊四)▲(伊二)▲

▲伊六〇▲

▲驅潜一九▲

▲驅潜二〇▲

▲朝日▲

▲那智▲

▲鳳翔▲

▲夕風▲、▲黑潮▲

▲伊二一▲、▲哨三三▲、▲哨三三▲

▲室戸▲

▲千代田▲

▲吾妻▲、▲木曾、▲龍田、▲口多摩▲

▲薄雲▲

▲鳩、▲鷺▲

▲呂三四▲

▲伊五二▲

▲哨三六▲、▲哨三七▲

▲襟裳▲

▲夕雲▲

▲加賀、▲出雲、▲飛龍、▲瑞鳳▲

▲白露、▲有明、▲夕暮、▲時雨、▲白雲、▲東雲、
▲叢雲、▲三日月▲

▲呂三〇▲、▲呂三一▲、▲呂三二▲、▲呂三三▲、▲呂三三▲、▲呂六〇▲、
▲伊五九▲

【伊豫灘】

▲千代田▲

▲吾妻▲、▲木曾、▲龍田、▲口多摩▲

▲薄雲▲

▲鳩、▲鷺▲

▲呂三四▲

▲伊五二▲

▲哨三六▲、▲哨三七▲

▲襟裳▲

▲夕雲▲

▲加賀、▲出雲、▲飛龍、▲瑞鳳▲

▲白露、▲有明、▲夕暮、▲時雨、▲白雲、▲東雲、
▲叢雲、▲三日月▲

▲呂三〇▲、▲呂三一▲、▲呂三二▲、▲呂三三▲、▲呂三三▲、▲呂六〇▲、
▲伊五九▲

海軍公報(部内限) 第三千八百七十一號

昭和十六年八月十四日

一〇六七

【鎮海】

哨三九、哨三八、
救島▲(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲
野分、朝顏、芙蓉、舞風、
驅潛一六

【作業地】

宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、戸足柄、
八丈、占守、嵯峨、橋立、口磐手、口名取、
長門、陸奥、日向、伊勢、扶桑、比叡、
榛名、金剛、川内、高尾、鳥海、摩耶、
愛宕、加古、衣笠、青葉、妙高、羽黒、
熊野、三隈、最上、鈴谷、利根、筑摩、
那珂、長良、嚴島、八重山、長鯨、
初鷹、白鷹、蒼鷹、鹿島、天龍、夕張、
迅鯨、香取、大鯨、五十鈴、赤城、
蒼龍、龍驥、千歳、瑞穂、山良、
球摩、勝力、香椎、駒橋、
栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、春風、
羽風、朝風、旗風、松風、文月、皐月、
水無月、長月、曉、響、雷、電、潮、曙、朧、
漣、吳竹、早苗、若竹、綾波、磯波、
敷波、浦波、若葉、初霜、子日、初春、
大潮、荒潮、夏雲、峯雲、朝雲、山雲、
朝潮、早潮、親潮、雪風、時津風、
天津風、初風、霞、不知火、霞、陽炎、
村雨、五月雨、春雨、海風、江風、山風、
涼風、谷風、浦風、磯風、濱風、汐風、
帆風、矢風、追風、疾風、夕風、朝風、

【航海中】

夕立、國後、石廊、沖島、野島、霧島、
伊一九、霧島、
五日吳發 | 作業地(佐世保)
六日横須賀發 | 吳(横須賀)
九日大湊發 | 舞鶴(西戸崎)
十一日舞鶴發 | 西戸崎(横須賀)
十一日舞鶴發 | 西戸崎(横須賀)
十三日作業地發 | 佐世保(横須賀)

如月、睦月、望月、彌生、神風、沼風、
野風、波風、滿潮、菊月、夕月、卯月、
峯風、沖風、
友鶴、鴻、隼、鴨、雁、雉、真鶴、初雁、
友鶴、千鳥、
呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、
呂六七、伊二、伊一、伊三、伊六、伊七、
伊八、伊九、伊一五、伊二〇、伊一八、
伊五七、伊六六、伊六一、伊六四、伊六五、
伊六六、伊七四、伊七五、伊二二、伊二一、
掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、
掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、掃一八、
驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、驅潛五、
驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、
驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、驅潛一七、
驅潛一八、
明石、宗谷、攝津、佐多、尻矢、鳴戸

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十六年八月十四日(木)
海軍大臣官房

○訓示

練習航空隊關係者參集ニ際シ訓示

航空術教育擔當ノ重責ニ任ズル航空部隊幹部會合ノ
機ニ當リ聊カ所懷ノ一端ヲ述ベテ訓示セントス
帝國海軍航空ハ諸先輩ノ育成輔導ニ依リ逐年健全ナ
ル發展ヲ遂ゲ今、次事變ニ際シテハ平素ノ練武克ク効
ヲ奏シ全支ニ亘リ赫々タル武勳ヲ樹テ其ノ威力ヲ中
外ニ宣揚シ帝國海軍戰史ニ一段ノ精華ヲ加ヘ得タル
ハ誠ニ同慶ニ堪ヘザル所ナリ
今ヤ歐洲ノ戰亂ハ全世界ニ波及セントシ帝國ノ國策
遂行ヲ阻害セントスル第三國ノ策動亦日ニ激化シ事
態ノ緊迫愈々急ナルモノアリ

惟フニ近代戰ノ勝敗ハ航空戰ノ成否ニ左右セラレ制
空ガ戰勝ノ第一歩タルハ歐洲戰ノ戰訓ヲ俟タズシテ
明カナル處ニシテ航空戰備及軍備ノ急速擴充強化ハ
正ニ帝國海軍ノ急務中ノ急務ニ屬ス而シテ之ガ中核
ヲ爲スモノハ實ニ人的要素タル航空要員ノ養成ニ在
リ本大臣ハ諸官ノ絶大ナル努力ニ依リ着々其ノ實効
ヲ擧ゲツツアルヲ認メ大ニ諸官ノ勞ヲ多トスルト共
ニ現下ノ情勢ニ對處シ更ニ一段ノ努力ヲ致シ以テ之
ヲ促進スルノ要切ナルモノアルヲ信ズ
素ヨリ教材、施設ノ不備、教育者ノ不足等教育ノ實
施ニハ幾多ノ困難支障ヲ豫期セザルベカラズ當事者
ノ心勞ハ充分諒察スル所ナリト雖思フ共ノ重責ニ致
シ綿密周到ナル計畫ノ下ニ上下協力一致愈々軍紀ヲ

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

振肅シ士氣ヲ振作シ創意ヲ凝シ能率ノ向上ヲ圖リ以
テ所期ノ目的達成ニ邁進センコトヲ望ム

昭和十六年八月十四日

海軍大臣 及川古志郎

2109

海軍公報(部内限)第三千八百七十二號

昭和十六年八月十五日(金)

海軍大臣官房

○通牒

官房第四三五四號

昭和十六年八月十五日

海軍諸例
則登載

海軍省 副官

各廳長殿

御寫眞ニ關スル件通牒

首題ニ關シ別紙ノ通宮内次官ヨリ通牒有之候條可然取計相成度

追テ海軍部内ニ於テ 天皇 皇后 皇太后三陛下
皇太子殿下其ノ他ノ皇族ノ御寫眞ヲ撮影シ又ハ御貸
下ヲ受ケ之ヲ複製頒布スル場合ニハ總テ海軍省ヲ經
テ宮内省ノ承認ヲ受クルコトニ定メラレ候

宮内大臣
官房 官發第三五〇號

昭和十六年八月六日

宮内次官男爵 白根 松介

海軍次官 澤本頼雄殿

天皇 皇后 皇太后三陛下ノ御寫眞ヲ撮影シ又ハ御貸
下ヲ受ケ記録用トシテ使用後更ニ之ヲ複製シテ關係員
其他一般へ頒布ノ場合ニ於テハ從來事前ニ當省ノ諒解
ヲ得ルノ慣例ナルモ近來往々事後ニ於テ諒解ヲ求メ或
ハ無斷ニテ頒布スル向モ有之勞々之カ氾濫ヲ防止スル
ノ趣旨ヲ以テ自今頒布ニ際シテハ總テ事前ニ於テ當省
ノ承認ヲ要スルコトト致候ニ付所屬各官廳及所管團體
等ニ對シ右ノ趣旨徹底方可然御配意相煩度候
追テ 皇太子殿下其他ノ皇族ニ付テモ之ニ準スル儀
ト御承知相成度

○辭令

北海道廳部長 永野 芳辰

海軍航空本部ニ於ケル木材材料研究業務囑託ヲ解ク
(昭和十六年海軍省)

(昭和十六年海軍省)

海軍整備特務大尉 荻原 嘉六

海軍航空本部ニ於ケル部外航空指導ニ關スル事務囑

海軍公報(部内限)第三千八百七十二號

昭和十六年八月十五日

一〇六九

託ヲ解ク(註)同

石原喜美雄

海軍航空本部ニ於ケル技術業務兼海軍航空技術廠ニ於ケル技術業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

(各通)

東京工業大學教授 二見 秀雄
東京工業大學助教 藤岡 通夫

海軍施設本部ニ於ケル研究業務ヲ囑託ス(以上註同)

秋山 中

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(註同)

從四位勳三等 高垣寅次郎

海軍省事務ヲ囑託シ部内限助任官待遇トス

(各通)

通信事務官 伊藤 定圓
通信書記補 藤卷 士郎
森山 康吉

海軍省事務ヲ囑託ス

(各通)

四拾圓 通信事務官 藤井 重壽
貳拾圓 通信書記補 宇都見 武男

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金(各頭書ノ通)ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

海軍省事務ヲ囑託ス

陸軍少尉 根來 勝

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

高橋 眞直

第四海軍建築部醫療業務囑託ヲ解ク(以上註同)

福田 暉勝

臨時歐洲戰爭軍事調査部長事務取扱ヲ命ス(註同)

海軍中將 近藤 信竹

○雜款

○將旗移揚

第六戰隊司令官ハ八月十二日將旗ヲ青葉ニ移揚セリ

○旗艦變更

第三航空戰隊司令官ハ八月十二日旗艦ヲ鳳翔ニ變更セリ

○事務所設置

門司在勤海軍武官府ヲ八月十一日門司稅關内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○第三派出所事務取扱ニ關スル件照會

第十海軍軍用郵便所第三派出所「八六」(所在地區別符

表ニ依ル進註ニ伴ヒ左記ニ依リ軍用郵便事務出張取扱ヲ開始ス

記

一、出張取扱地域

第三派出所所在地附近ニ在ル軍用郵便所ノ設置ナキ各島嶼

二、出張取扱事務

(一) 爲替

軍事爲替振出及拂戻

小爲替(滿洲國及北支那)ノ拂渡

(二) 貯金

通常貯金ノ預入及拂戻

(三) 郵便

郵便切手ノ賣捌

軍事郵便物ノ引受及交付

但シ郵便物ノ差立及到着事務ハ之ヲ取扱ハズ

三、出張取扱期間及場所

所員出張ハ第六根據地隊司令部(第六防備隊六根司令部)ト同一地ニ非ザル場合ハ六防所定ノ艦船便ニ

ヨリ艦船便ノ行動豫定出張取扱期間及場所其ノ他必要事項ハ司令部(第六防備隊六根司令部)ト同一地

ニ非ザル場合ハ六防ヨリ關係ノ向ニ之ヲ通知ス

(第十軍用郵便所軍用郵便監督官)

○入校期日

近ク任命豫定ノ本校選修學生(第二十二期)ハ九月二十日(月)始業式ニ付其ノ前日迄ニ入校セシメラレ度

(海軍經理學校)

○正誤



昭和十五年十二月二十七日公報(部内限)號外令達官房第四五九二號ノ四中「第四二二三號」ノ項ヲ削ル

海軍公報(部内限)第三千八百七十二號 昭和十六年八月十五日

一〇七一

○艦船所在 指定ヲ要セズ

八月十五日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、▽神威、常磐、
翔鶴、能登呂▲

伊一七、伊一六、伊四、伊五、伊二四、伊一九

津輕▲、(伊三)▲、(伊三三)▲、(伊三七)▲

【長浦】

萩風▲、嵐▲

呂六一▲、呂六二▲

哨一▲、哨二▲

【芝浦】

知床

【横濱】

(筑紫)▲

【浦賀】

(秋雲)▲

【館山】

澤風

【大湊】

石垣

驅潜二五、驅潜二三、驅潜二四

大泊

淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、摩耶、

加古、北上、古鷹、大井

夏潮、戸初雪、白雪、吹雪、夕霧、朝霧、

天霧、狹霧

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、伊五四、

伊五五▲、伊五八▲、伊二二▲、伊七〇、

伊六八、伊七三、伊七一、伊七二、伊三三、

伊五六、伊六九

驅潜特五二▲、驅潜特五三▲、驅潜特五三▲

哨四六▲、哨三四、哨三五

樺野、隱戸、間宮、鶴見

【吳】

伊豫灘 千代田
吾妻▲、木曾、龍田、口多摩
舞鶴 薄雲▲、
鷓鴣▲
呂三四▲
哨三六▲、哨三七▲
襟裳
(夕雲)▲
加賀、出雲、飛龍、瑞鳳、霧島
白雲、有明、夕暮、時雨、白雲、東雲、
叢雲、三日月
呂三〇▲、呂三二▲、呂三三▲、呂三三▲、呂六〇、
伊五九▲

【大坂】

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲

驅潜二二▲

瑞鶴▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲

(伊三一)▲、(伊四一)▲、(伊一一)▲

驅潜一九▲

伊六〇▲

(驅潜二〇)

朝日

那智

鳳翔、▽由良

夕風、黒潮、

伊二一、伊六一、伊六一、伊六四、伊六五、

伊六六

哨三一、哨三二、哨三三

室戸

伊豫灘

千代田

吾妻▲、木曾、龍田、口多摩

舞鶴

薄雲▲、

鷓鴣▲

呂三四▲

哨三六▲、哨三七▲

襟裳

(夕雲)▲

加賀、出雲、飛龍、瑞鳳、霧島

白雲、有明、夕暮、時雨、白雲、東雲、

叢雲、三日月

呂三〇▲、呂三二▲、呂三三▲、呂三三▲、呂六〇、

伊五九▲

【西戸崎】
【鏡海】

哨三九、哨三八
敷島▲
(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲
野島
野分、□朝顔、芙蓉、舞風
驅潜二六

【作業地】

宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、□足柄、
八丈、古守、嵯峨、橋立、□磐手、□名取、
長門、陸奥、□日向、伊勢、扶桑、□比叡、
榛名、金剛、□川内、□高雄、鳥海、愛宕、
衣笠、□青葉、□妙高、□羽黒、□熊野、三隈、
最上、鈴谷、□利根、筑摩、□那珂、□長良、
嚴島、八重山、□長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、
鹿島、天龍、□夕張、□迅鯨、□香取、
大鯨、□五十鈴、□赤城、□蒼龍、□龍驤、
千歳、瑞穂、球磨、勝力、□香椎、駒橋、
栗、梅、蓮、刈萱、□秋風、太刀風、□春風、
羽風、朝風、旗風、松風、□文月、皐月、
水無月、長月、□曉、響、雷、□潮、曙、
漣、□吳竹、早苗、若竹、□綾波、磯波、
敷波、浦波、□若葉、初霜、子日、初春、
大潮、荒潮、□夏雲、峯雲、朝雲、山雲、
朝潮、□早潮、親潮、□雪風、時津風、
天津風、初風、□霞、不知火、霞、陽炎、
村雨、五月雨、春雨、□海風、江風、山風、
涼風、□谷風、浦風、磯風、濱風、□汐風、
帆風、矢風、追風、疾風、夕風、□朝風、

【航海中】

夕立 (五日吳發—作業地へ)
國後 (六日作業地發—佐世保へ)
石廊 (九日横須賀發—吳へ)
沖島 (十一日作業地發—横須賀へ)
早鞆 (十一日大湊發—舞鶴へ)
神通 (十四日吳發—作業地へ)
伊五二 (十四日舞鶴發—吳へ)

如月、睦月、望月、彌生、□神風、沼風、
野風、波風、滿潮、□菊月、夕月、卯月、
峯風、沖風
女鶴、鴻、隼、鴨、□雁、雉、真鶴、□初雁、
□鶴、千鳥
呂六三、呂六四、呂六八、□呂六五、呂六六、
呂六七、□伊二、伊一、伊三、□伊六、伊七、
伊八、伊九、伊一五、伊二〇、伊一八、伊五七、
伊七四、伊七五、□伊二三、伊二二
掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、□掃七、
掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、□掃三三、
掃一四、掃一五、掃一六、掃一六、□掃一七、
掃一八
驅潜一、驅潜二、驅潜三、□驅潜四、驅潜五、
驅潜六、□驅潜七、驅潜八、驅潜九、
驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二、驅潜一七、
驅潜一八
明石、宗谷、攝津、佐多、尻矢、鳴戸

海軍公報

(部内限) 第三千八百七十三號

海軍大臣官房

昭和十六年八月十六日(土)

○通牒

官房機密第三〇九一號ノ九

昭和十六年八月十五日

海軍省副官

各廳長 殿

郵便物ニ關スル件申進

官房機密第三〇九一號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附録部隊區別符表末尾ニ左ノ如ク加フ

第五海軍航空廠分工場 八六

經豫機密第三號ノ四六

昭和十六年八月十五日

海軍省經理局長

關係各支出官 殿
關係各資金前渡官吏 殿

佛印ニ於テ要スル外貨ノ受領方法ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ本月二日經豫機密第三號ノ四〇ヲ以テ通牒致置候ピアストル貨ハ橫濱正金銀行河内出張所ノ外同西貢出張所ニ於テモ國庫金送付手續ニ依リ受領シ得ルコトト相成候條了知相成度

○辭令

海軍主計少佐 兒玉 茂

御府獻納品銓衡委員會委員ヲ命ス

海軍航空本部造兵監督官海軍機關大佐 山下 茂治

大阪監理官兼神戸監理官ヲ命ス

大阪監査官兼神戸監査官ヲ命ス

海軍艦政本部造船監督官兼造兵監督官海軍機關大佐 石崎 忠三

東京監理官ヲ命ス

東京監査官ヲ命ス

海軍公報(部内限) 第三千八百七十三號

昭和十六年八月十六日

一〇七五

海軍航空豫備學生(整備科)ヲ免ス 上畑 清郎

遞信局事務官 大森 秀夫

第七海軍軍用郵便所長ヲ免ス

通信書記 鍛田 義雄

事務員 橋本 清

集配員 飯尾 靜雄

同 平野 勝次

同 古場 佐七

第七海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上ハ海軍省)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第一潜水戦隊司令官ハ旗艦ヲさんとす丸ニ變更セリ

○ 司令潜水艦一時變更

第一潜水隊司令ハ八月九日司令潜水艦ヲ一時伊號第十五潜水艦ヨリ伊號第十七潜水艦ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

當廠(所在地區別符五〇)分工場及(所在地區別符八六)分工場宛書類ハ當分ノ間左記ニ依リ發送相成度

應 名	普通郵便物	航空郵便	記 事
第五海軍航空廠 トラツク分工場	横須賀郵便局 氣付壹八六 坂川正吉	同上	一、軍事郵便(朱書) ノ指定ヲナズ 二、封筒ニハ職名及 職名ハ絕對ニ表示 セザルコト
第五海軍航空廠 ウオツゼ分工場	横須賀郵便局 氣付壹八六 石川久能	同上	

(第五海軍航空廠)

○ 事務所設置
第五海軍航空廠(所在地區別符五〇)分工場及同(所在地區別符八六)分工場事務所ヲ八月一日第五海軍航空廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ
立石艦裝具事務所ヲ八月十二日兵庫縣相生町播磨造船所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○艦船所在 ▲印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

八月十六日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、▽神威、常磐、
翔鶴、能登呂▲

伊一六、伊四、伊五、伊九、伊二四、伊一九、
伊一五、伊一八、伊三三

【長浦】

萩風▲、嵐▲
呂六一▲、呂六二▲
哨一▲、哨二▲

【芝浦】

知床

【横濱】

筑紫▲

【浦賀】

秋雲▲

【館山】

澤風

【大湊】

石垣

【吳】

大泊

【吳】

淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、摩耶、
加古、北上、古鷹、大井、
夏潮、▽初雪、白雪、吹雪、▽夕霧、朝霧、
天霧、狹霧

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、▽伊五三▲、伊五四、
伊五五▲、▽伊五八▲、伊二三▲、伊七〇、
伊六八、▽伊七三、伊七六、伊七、▽伊五六、
伊六九、伊六六

驅潛特五一▲、驅潛特五二▲、驅潛特五三▲、
哨四六▲、哨三四、哨三五

【大阪】

樺野、隱戸、間宮、鶴見、石廊
日進▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲
驅潛二▲

【相生】

瑞鶴▲、(伊良湖)▲、(伊一〇〇)▲、(伊二五)▲、
伊三三▲、(伊四二)▲、(伊一一)▲
驅潛一九▲

【相玉】

伊六〇▲
驅潛二〇

【德山】

朝日
那智

【別府灣】

鳳翔、▽由良

【佐伯】

夕風、黒潮、
伊二一、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊六五、
哨三、哨三三、哨三三

【伊豫灘】

千代田
室戸

【舞鶴】

吾妻▲、木曾、龍田、▽多摩
薄雲▲
鳩、鷺
呂三四▲
哨三六▲、哨三七▲

【佐世保】

襟裳
夕雲▲
加賀、出雲、飛龍、瑞鳳、霧島
白霧、有明、夕暮、時雨、▽白雲、東雲、
叢雲、三日月
呂三〇▲、呂三二▲、呂三三▲、▽呂三三▲、呂六〇、
伊五九▲

【西戸崎】

哨三九、哨三八
敷島▲
(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲

【鎮海】

野島
野分、□朝顔、芙蓉、舞風
驅潜二六

【作業地】

宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、□足柄、
八丈、占守、嵯峨、橋立、□磐手、□名取、
□長門、陸奥、□日向、伊勢、扶桑、榛名、
金剛、□川内、□高雄、鳥海、愛宕、衣笠、
青葉、□妙高、羽黒、□熊野、三隈、最上、
鈴谷、□利根、筑摩、□那珂、□長良、
嚴島、八重山、□長鯨、初鷹、白鷹、若鷹、
□鹿島、天龍、□夕張、□迅鯨、□香取、
□大鯨、□五十鈴、□赤城、□蒼龍、□龍驤、
□千歳、瑞穂、球磨、勝力、□香椎、□神通、
駒橋
栗、梅、蓮、刈萱、□秋風、太刀風、□春風、
羽風、朝風、旗風、松風、□文月、皐月、
水無月、長月、□曉、響、雷、□潮、曙、朧、
漣、□吳竹、早苗、若竹、□綾波、磯波、
敷波、浦波、□若葉、初霜、子日、初春、
□大潮、荒潮、□夏雲、峯雲、朝雲、山雲、
朝潮、□早潮、親潮、□雪風、時津風、
天津風、□初風、□散、不知火、霞、陽炎、
村雨、五月雨、春雨、□海風、江風、山風、
涼風、□谷風、浦風、磯風、濱風、□汐風、

【航海中】

□夕立 (五日吳發—作業地へ)
國後 (六日作業地發—佐世保へ)
□沖島 (十一日作業地發—横須賀へ)
早瀬 (十一日大湊發—舞鶴へ)
比叡 (十三日佐伯發—佐世保へ)
伊五二 (十四日舞鶴發—吳へ)

帆風、矢風、追風、疾風、夕風、□朝風、
□如月、睦月、望月、彌生、□神風、沼風、
野風、波風、滿潮、□菊月、夕月、卯月、
峯風、沖風
□鶴、鴻、隼、鴨、□雁、雉、真鶴、□初雁、
友鶴、千鳥
□呂六三、呂六四、呂六八、□呂六五、呂六六、
呂六七、□伊二、伊一、伊三、□伊六、伊七、
伊八、伊二〇、伊五七、□伊七四、伊七五、
伊一三、伊二二、□伊一七
□掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、□掃七、
掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、□掃二三、
掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、□掃一七、
掃一八
□驅潜一、驅潜二、驅潜三、□驅潜四、驅潜五、
驅潜六、□驅潜七、驅潜八、驅潜九、
驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二、驅潜一七、
驅潜一八
明石、宗谷、攝津、佐多、尻矢、鳴戸